令和元年 12 月 4 日

公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL] +81-72-867-1686 [FAX]+81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainfo@hmc.hosokawa.com [URL] www.kona.or.jp

第 3 回 国際ホソカワ粉体工学シンポジウムを中国で開催

【D a t e】Tuesday, November 19, 2019
【Venue】Shanghai Institute of Ceramics, China
【Theme】“Powder and Particle Technology for Advanced Materials”

当財団の「アジアでの国際化展開特定事業」として、第 3 回国際ホソカワ粉体工学シンポジウム（3rd Hosokawa Powder Technology Symposium）が、令和元年 11 月 19 日(火)に、中国上海にある上海セラミックス研究所で開催されました。この国際ホソカワ粉体工学シンポジウムが海外で開催されるのは、第 1 回（2014 年、ドイツ）、第 2 回（2017 年、米国）に続き 3 回目で、本会の開催に当たっては、上海セラミックス研究所ならびに日本の粉体工学会の共催、ホソカワミクロン（HMC）とホソカワミクロン上海（HMS）の後援を得ました。今回のシンポジウムは、「機能性材料のための粉粒体工学」をテーマとして、細川理事長の開会挨拶の後、5 件の講演が行われました。

講演の内容は、超高温耐熱ロケット部材や反射鏡、透明材料などの先進材料用の高純度、超微細粉体の製造・加工技術、新規ナノ粒子径測定装置とこれをラインに組み込んだインシテュ・リアルタイムのナノ粒子計測、自然生物の形態を模倣した機能性材料などに関する講演の後、様々な工業製品分野への粉体処理技術の応用、ならびに PLGA ナノ粒子を用いた化粧品・医薬品の開発と商品化についての講演がありました。そして最後に HMS の内田董事長の閉会挨拶で終了しました。

今回のシンポジウムには、中国、日本、韓国、台湾などの大学ならびに企業から全体で 130 名余りの参加がありました。同会場では、当財団の活動を参加者に知ってもらうためにパネル展示を行い、その歴史や主な事業内容について紹介を行うとともに、KONA Powder and Particle Journal の最新号を展示しました。また、HMS からも同社や粉体処理機械等の紹介用のパネルが展示されました。

本シンポジウムが開催された上海セラミックス研究所は、設立 1928 年の歴史ある研究所で、その 4 階にあった講演会場は、重厚な椅子が各列で全席連なった格調のある傾斜型会議室で、出席者にはプログラムのパンフレットと

講演関係者

共にカラー印刷した英語版講演スライドのコピー資料が配布されました。

講演会の後、会場を 14 階に移して、懇親会が行われ、講師と受講者間での討議が続けられて交流が図られました。その会場ホールには、セラミックス研究所らしく大きないろどり豊かないくつかの彩陶花瓶や精緻な陶板大屏風などが展示されており、中国の文化的伝統が感じられました。

講演会風景

懇親会風景